【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第４区分
【発行日】平成29年7月6日(2017.7.6)

【公開番号】特開2015-226394(P2015-226394A)
【公開日】平成27年12月14日(2015.12.14)
【年通号数】公開・登録公報2015-078
【出願番号】特願2014-110365(P2014-110365)
【国際特許分類】
Ｈ０２Ｊ　7/00　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｈ０２Ｊ　7/00　X

【手続補正書】
【提出日】平成29年5月25日(2017.5.25)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
充電池を搭載した複数の電子機器における電池残量を確認するための電池残量確認装置であって、
各上記電子機器の配置位置を示す配置位置情報と、各上記電子機器の充電池の残量を示す電池残量情報とを取得する情報取得手段と、
上記配置位置情報に基づいて、上記電子機器同士の位置関係を立体図を用いて表示すると共に、上記電池残量情報に基づいて、各上記電子機器の電池残量を各上記電子機器の配置位置と対応付けて当該立体図内に表示する情報報知手段とを備えたことを特徴とする電池残量確認装置。
【請求項２】
上記立体図には、各上記電子機器に対応する電子機器画像が含まれており、
上記情報報知手段は、
上記電池残量情報から電池残量が所定値以下である電子機器に対応する電子機器画像を強調表示することを特徴とする請求項１に記載の電池残量確認装置。
【請求項３】
ユーザの操作を受け付ける操作受付手段をさらに備え、
上記情報報知手段は、
上記操作受付手段によるユーザの操作を受け付けたとき、上記電子機器同士の位置関係および各上記電子機器の電池残量を表示することを特徴とする請求項１または２に記載の電池残量確認装置。
【請求項４】
上記情報報知手段は、
電子機器から取得する電池残量情報が所定値以下の充電池の残量であることを示したとき、上記電池残量を表示することを特徴とする請求項１～３の何れか１項に記載の電池残量確認装置。
【請求項５】
上記電子機器は、充電池を搭載したスピーカ装置であることを特徴とする請求項１～４の何れか１項に記載の電池残量確認装置。
【請求項６】

上記情報取得手段は、上記スピーカ装置が出力する特定の音声信号に基づいて、当該スピーカ装置の位置を解析することにより、上記配置位置情報を取得することを特徴とする請求項５に記載の電池残量確認装置。

【請求項７】

請求項１から６のいずれか１項に記載の電池残量確認装置としてコンピュータを機能させるための電池残量確認プログラムであって、コンピュータを上記各手段として機能させるための電池残量確認プログラム。

【請求項８】

請求項７に記載のプログラムを記録したコンピュータ読み取り可能な記録媒体。